

# 会 議 録

令和3年度 焼津市子ども・子育て会議		意見 受付期間	令和3年8月13日(金)～9月10日(金)
		開催場所	書面会議
議 題	(1) 第2期焼津市子ども・子育て支援事業計画の変更点について (2) 第2期焼津市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度実績報告 (3) 今後の子ども・子育て家庭を取り巻く問題について意見交換 (4) その他		
委員 (敬称略)	永田 恵実子 増田 紀子 村松 幹子 小関 直司 川村 法美 山下 宣子 稲森 俊亮 増田 隆 砂川 ことみ 法月 仁美 奥山 道文 米澤 光芳 小松 昭彦 小池 清司 宮澤 礼子	静岡福祉大学 学識経験者 焼津市保育園協会 焼津市私立幼稚園協会 焼津市社会福祉協議会大井川支所 親子ふれあい広場 焼津市保育園保護者会連合会 焼津市私立幼稚園 PTA 連絡協議会 焼津市公立幼稚園 PTA 焼津市 PTA 連絡協議会 なかよし小川クラブ黒石するめ 焼津市商工会議所青年部 志太地区労働者福祉協議会 焼津公共職業安定所 焼津市立焼津黒石小学校	子ども学部長・教授 元小学校長 会長 会長 主任 相談員 会長 会長 会長 家庭教育委員長 保護者代表 政策提言副委員長 副会長 所長 校長
事務局	<b>【事務局】</b> 渡辺 晃子 織原 由香利  藤野 大 増井 悟 井堂 千嵩 岡村 昇 村松 眞智子 朝倉 満 小長谷 邦博 八木 彩子 山梨 のぞみ	こども未来部 こども未来部 兼保育・幼稚園課 子育て支援課 子育て支援課 子育て政策担当 子育て支援課 子育て政策担当 こども相談センター こども相談センター 発達支援担当 こども相談センター こども家庭相談担当 保育・幼稚園課 保育・幼稚園担当 健康づくり課 母子保健担当 家庭・子ども支援課 家庭・子ども支援担当	部長 次長 課長 課長 主幹 主事 所長 係長 係長 主幹 係長 主幹

【議題】

議事（１）第２期子ども・子育て支援事業計画の変更点について		
関係資料	資料２	
委員からの質問・意見等		
1	委員	資料２－③を見ると、焼津幼稚園の方が豊田幼稚園よりも、保育室等面積は広いが、利用定員は豊田幼稚園の方が倍近く多い。その差が地域の需要等を踏まえてということだと思われるが、表の数字のみを見ると、どういった需要の違いがあるのか疑問に思った。
	事務局	西焼津駅周辺を始めとする豊田地区は教育・保育ニーズに関しては大きい地域であるため、同地域にある豊田幼稚園においては多くの人数の受け入れを行っていただいております。
2	委員	小規模保育所が H29～R1 年度までに 14 施設増設されたが、0～1 歳児の保護者からの相談で入園までに至らない件数は少なくない。幸いなのは、仕事復帰の期日を柔軟に対応できる雇用者が在ることだ。子育て支援は、働き方改革と大きく連動する。
	事務局	子育てと仕事の両立の環境について、検討してまいります。
3	委員	量や保育士確保だけでなく、保育の質、社会から要求される保育の形態等の調査にも力を入れて欲しいです。後手にまわらぬよう取り組むよう、各園に働きかけをお願いします。
	事務局	焼津市は私立・公立及び保育・幼稚園の枠を超え、オール焼津の体制で保育の質の向上を目指し、焼津市乳幼児教育推進会議を設置しています。その中で、大学教授等の学識を活かした研修等を開催することにより、保育者の指導力の向上を図ってまいります。

議事（2）第2期子ども・子育て支援事業計画の令和2年度実績報告		
関係資料	資料3・4	
委員からの質問・意見等		
1	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域により、教育・保育提供の状況に大きな差がみられる。総数としては足りているが、利用者のニーズに照らして充分かどうかの検証は必要ではないか。</li> <li>・実施状況は数字として客観的な把握ができる。しかし、市民としての成果の実感が感じられない。誰のための事業計画か。</li> </ul>
	事務局	<p>支援事業計画では、市内を3つの区域に分け、それぞれの区域の推計児童人口やニーズも踏まえ、量の見込を算出しております。</p> <p>焼津市では毎年、市民意識調査を実施しており、令和2年度においても、18歳以上の男女3,000人を対象に調査を行いました。その際に、「あなたは、焼津市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思いますか」という質問で、高校生以下の子どもがいる世帯の76.7%の方に、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答をいただいております。自由意見欄においても、焼津市の子育ての取り組みについては、市民の方から一定の評価をいただいております。</p>

2	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の中には、情報交換したり相談したりするものがあるが、保護者にとってはとても有意義なものだと思います。しかし、コロナ禍においては、対面での会話が難しい面もあると思いますので、WEB会議システム等を使ったリモートでの相談等が可能になるといいのではないかと思います。</li> <li>・子育てコンシェルジュの配置は非常に重要だと思う。子育ての悩みを気軽に相談できる場・機会として、実際の活動状況はわからないが、充実させていく必要がある。</li> </ul>
	事務局	<p>各種相談事業に関しては、今後もコロナの感染状況により、リモートによる相談事業等の実施も検討してまいります。</p> <p>子育てコンシェルジュに関しましては、市内3カ所の子育て支援センターに配置するとともに、本年9月からは月2回程度、ターントクルこども館でも気軽に相談ができるような体制を整備しており、今後も積極的に活動してまいります。</p>

3	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正直、知らない事業がたくさんありました。これだけ色々な角度から支援していただけているのは感謝したいです。支援が</li> </ul>
---	----	--

		<p>必要な方たち皆が認知しているといいなと思いました。</p> <p>・病児・病後児保育事業では、専用スペースで看護師が一時的に保育をしてくださることで、子どもも保護者も安心した中で保育が受けられ、大変すばらしい事業だと思いました。どんな子どもでも保育を受けられる環境があることが大切だと思います。そういった環境を増やしていただくと、子どもの健やかな成長へとつながると思いますので、よろしくお願い致します。</p>
	事務局	<p>情報提供については、LINE や子育て応援サイト等の HP でも情報発信に努めております。引き続き、きめ細やかな情報を提供できるように検討してまいります。</p>

4	委員	<p>事業実施報告書や子ども・子育て支援事業計画を通して、充実した支援の施策がうかがえる。しかし、働き方改革やコロナ禍による財政難が見込まれ、子育て支援に係る福利厚生現状維持は困難ではないか。実際ファミサポの助成金が廃止されている。今後の動向に注視したい。</p>
	事務局	<p>ファミリー・サポート・センターの利用料助成については、令和元年の 10 月からスタートした幼児教育・保育の無償化において対応しております。限られた財源の中で、効果的に事業が実施できるように各種事業の検証を行ってまいりたいと考えております。</p>

5	委員	<p>焼津市の保育者研修体制は県内でも先進的なものであり、今後も現体制が維持・発展されることを願う。また、保育者確保にもつながるものであるため、さらに PR できる場があるといい。</p>
	事務局	<p>保育者研修会につきましては、実施した内容を市ホームページへ掲載しているところですが、わかりづらいことから、より、多くの方に見ていただける場所への掲載やその他の PR 方法につきましても検討してまいります。</p>

6	委員	<p>認可外保育所へのかかわり方は難しいと思うが、県の関係部局と連携し、一層の質の向上が図られるとよい。</p>
	事務局	<p>「保育者資質向上研修会」につきましては、市内の保育に関わる全ての職員の資質向上につなげていくことを目的としていることから、認可・認可外・公立・私立・幼稚園・保育園の区別なく、参加を呼び掛けてまいります。</p>

議事（3）今後の子ども・子育て家庭を取り巻く問題について意見交換		
関係資料	資料5	
委員からの質問・意見等		
1	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人も様々な要因からストレスがたまっていると思われる。その影響は、必ず子ども（弱者）に出る。学校や登下校中にも子どもの様子を社会で注視していく必要があると思う。</li> <li>・現在、濃厚接触者になったら、PCR 検査が陰性でも2週間学校を休まなければいけない。それによって、変な噂がひろまったり差別が生じたりする可能性もある。ワクチンについても非接種の方を差別することは許されない。引き続き、心の教育に力を入れていかなければならない。</li> <li>・幼稚園・保育園等に限らず小学校においても、家庭環境の不安定さが、子どもの養育に大きな影響を及ぼしていることを実感する。経済的な面はもとより、親の「うつ傾向」により、十分な教育ができていない状況が見られる。更にきめ細やかな対応が望まれる。</li> <li>・学校ではコロナ対策により、従来通りの活動ができなくなっており、休み時間ですら接触を避けて1人で過ごさざるを得ない場面もでてきている。増大する子どもたちのストレスに、適切に対処できるかどうかという点で、家庭教育の役割は一層大きくなるとともに、その格差が広がることが懸念される。</li> <li>・宿題の採点や、出来なかったところをわかりやすく子供に教えることがなかなか出来ず、理解度が低いと子どもにあたってしまい、勉強が嫌いになったかもしれません。学校には、そのフォローをお願いしたいです。</li> </ul>
	事務局	<p>ご指摘のとおり、コロナ禍においては、子ども達の周りだけではなく、保護者などの大人の心のケアも必要になってきます。周りとの関係が一層希薄になってきてしまうのではないかという社会で、地域などに取り残される家庭が出ないように、施策を検討をしていきたいと思えます。</p>

2	委員	<p>放課後児童クラブ事業において、コロナ感染予防の為の十分なソーシャルディスタンスをとれていない現状がある。クラブでも可能な限り受け入れをしたいと思うが、家庭内保育をできる方にはご協力をお願いしたいと考えている。</p>
	事務局	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策の徹底や利用自粛など、各児童クラブ運営法人においては御理解と御尽力をいただきました。新型コロナウイルス対策については、今後も各法</p>

		人と協力・連携を図り対応していきます。
3	委員	(放課後児童クラブ運営法人より) コロナ感染の拡大に伴い、職場で働くことに不安を感じている職員が増えている。
	事務局	児童クラブにおける感染症対策の徹底のための情報提供や新型コロナ対策の補助金を活用した感染対策環境整備を行っていただきました。併せて、クラブ職員の優先的なワクチン接種を行いました。今後も職員が安心して勤務できるよう、児童クラブ支援を継続していきます。
4	委員	園や職場や家族で感染が認められた時、一定期間、出勤を停止されるケースがある。その間の賃金等が保障されていればよいが、パート勤務等実績が問われる場合、経済的な課題につながる懸念はないか。
	事務局	<p>コロナ禍における、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言などで影響を受けた事業者支援として、国は「雇用調整助成金」により事業所の雇用の維持を図るとともに、労働者支援として、休業中に賃金(休業手当)を受けることができなかつた方に「感染症対応休業支援金・給付金」制度を設けております。また、小学校などが休校した場合に子を世話するために休暇を取得した保護者に対し「小学校休業等対応助成金」制度を設け、保護者の経済支援を続けております。</p> <p>市としましても、事業所支援としてこれまで様々な支援金や補助金により、事業所の安定的な継続、早期の再開を図る事業に取り組んでまいりました。</p> <p>引き続き、市内経済の実態を踏まえ、国や県の施策とも連携を図り、事業者等に寄り添ったきめ細かな施策を迅速に講じるとともに情報発信に努めてまいります。</p>
5	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段ならゲームのやりすぎに注意している場面でも、チャットしながら友達と楽しんでいる姿を見られて複雑ですが嬉しく思っています。本来なら外で遊んだり、同じ空間でゲームできるのに子どもたちも我慢しています。ただ、このままダラダラ引きこもり生活に慣れすぎていくことが怖く感じます。元通り学校に行って規則正しく協調して生活できるでしょうか。心配です。</li> <li>・子供たちも自由に友達と遊んだりすることが出来ず、家でテレビやゲームばかりしていて、以前より母親からおこられる機会が増えたように感じます。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍もあり、ゲーム・YouTube（スマホ）等の時間が増えている。親世代も同様で子どもを指導できないのではないだろうか。親への啓発も必要だと考える。</li> </ul>
	事務局	<p>コロナ禍における学校の臨時休校などにおいて、学校の授業の在り方についてはこれまでの実績や経験などを踏まえて、より適切な対応ができるように検討してまいります。</p>

6	委員	<p>学校と（放課後児童クラブ運営法人と）の情報共有をもっと密に取れる環境が必要。</p>
	事務局	<p>児童クラブ運営法人では、行事日程や日々の日課、また緊急の日程変更など、常に学校と連携を取り合っています。児童の様子についても、情報共有を行うなど、児童クラブを利用する児童の通う小学校と密接に連携して支援にあたっています。各法人において活発な連携を行っていただきたいと考えています。</p>

7	委員	<p>○幼稚園の廃園が進んだり、利用者が希望する園に入れない現状もある中で、数値だけの話ではなく、心も汲んでくれていると嬉しいです。たくさんの支援を考え実行してくれてありがとうございます。</p>
	事務局	<p>全国的に少子化が加速度的に進み、当市においても幼稚園や保育園の統廃合なども踏まえた今後の在り方について検討せざるを得ない、と認識しております。</p> <p>また、それと同じように、地域の実情に応じた質の高い保育や教育を提供し、更に充実させていくことも同じように重要な課題であると考えております。</p>

8	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参集が困難な時となった。年に1度の大切な会議でもある。リモートでの開催を検討すべきだと思う。書面によるということでは、委員としての理解が十分にできないことを実感する。</li> <li>・ターントクルこども館の施設見学ができず残念でした。</li> </ul>
	事務局	<p>コロナ禍における会議の開催方法につきましては、WEB会議による実施なども検討してまいります。</p> <p>ターントクルこども館につきましても、施設見学等の機会を検討してまいります。</p>

9	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年9月1日から焼津市内の小学校においてオンライン授業が開始されることにより、下記のような課題・問題が生じ得ると思います。</li> </ul>
---	----	--

	<p><b>【課題・問題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両親が仕事等で日中家にいない家庭においては、子どもが家でオンライン授業を受けることが困難</li> <li>・自宅にWi-Fi等、インターネット接続環境が無い場合、自宅でオンライン授業を受けることができない。</li> <li>・保護者や子ども自身に、インターネットや関連機器等に関する知識が無い、不足している</li> <li>・生活環境の変化により、保護者・子どもともにストレスが増加する</li> <li>・子どもの運動不足が加速する</li> <li>・子ども同士の交流、遊び、思い出に残る事業の体験等の機会が減ってしまう</li> <li>・子どもの体調、精神状態等について、教師の目が届きにくくなる</li> </ul> <p><b>【対策・支援】</b></p> <p>上記のような課題・問題に関しては、次のような対策・支援が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リアルの授業とオンライン授業の両立</li> <li>・オンライン授業を受けるための個別ブース等、場所の提供（学校、公共施設、民間施設）、利用料の援助等（逆に、テレワークをしている（が、家庭環境により子どものオンライン授業との両立が難しい）保護者のために個別ブース等の提供、利用の援助等することも考えられる。）</li> <li>・Wi-Fi、インターネット接続に関する機器の貸出し、インターネット接続工事費用の援助等</li> <li>・インターネット、オンライン機器に関する説明会（リアル、オンライン）</li> <li>・オンラインによる体育の授業</li> <li>・オンラインによる、授業以外の遊び、子ども同士の交流の機会の提供</li> <li>・オンラインによる定期的な面談・懇親会（教師と生徒、教師と保護者、三者面談、保護者懇親会等）の実施（これまで以上に、「節度のあるおせっかい」が必要？DV、貧困、病気、精神障害等、相談できず孤立して苦しんでいる家庭・子どもへの支援、悩み・問題等の共有）</li> <li>・離婚（財産分与、養育費の取り決め等）、不当解雇、給与・残業代等の未払い、借金・債務整理等の問題について、市の法律相談・司法書士相談、法テラス、司法書士相談センター静岡等の案内、情報提供</li> </ul> <p>・学校でもオンライン授業が始まりましたが、突然の意向にインターネット環境がなかった家庭では困惑したことでしょう。昨年のコロナ発生時の緊急事態宣言とは違い、今回についてはリスク</p>
--	---



	<p>マネジメントの観点からみても、あまりに一方的で急な判断であり、子どもを持つ多くの保護者の現状を微塵も考えていないのでは、とさえ感じました。</p> <p>今回のコロナの事だけではなく、様々な状況や対応が不透明であり、今度は急に何を言ってくるのだと、本当に強い不安があります。</p> <p>学校や幼稚園では先生方が、この先の見えない状況のなか急な判断で先生方も初めてのことで本当にご苦労されているなか、丁寧に一生懸命に対応してくださり、子ども達のために奮闘してくださっている姿には頭がさがる思いです。</p> <p>どうか市民・県民・国民を仕事として支えてくださっている方々には、小さな声をきちんと聞いていただき届けていただき、一方的な強制でない管理をしていただくことを熱望します。子ども達の未来を守り、私たちの生活を守ってください。よろしくお願ひします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のコロナ対策としてのリモート授業については完全に弱者切り捨て感があります。あまりにも一方的、先進的ぶってやっているとしか思えません。一体、誰のための教育なのか。教員のためではなく、子どもたちに寄り添った教育を今一度考えて欲しいものです。なぜ、焼津だけ？って皆思っていますよ。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が一気に拡大したことで、学校では一斉にオンライン授業へと舵を切った。初めてのことにとまどいながらも、子ども達の学力保障のため、全職員が奮闘し、よりよい教育の提供をめざし、取り組んでいる。今回の事態に対しては学校側の状況を理解し、協力してくれる家庭が多く、ありがたく思った。</li> </ul>
事務局	<p>当時、10万人当たりの感染者数が、県内で最も高かった状況をうけ、子どもの学びの機会を保障するため対応しました。</p> <p>すでにご承知いただいていると思いますが、インターネット環境がない場合や家庭の事情により、登校して学習することも可能とする対応をとらせていただきました。</p> <p>先進的なことを目指したのではなく、市内の感染状況を踏まえて行った対応であり、結果として、近隣市町が実施しない対応をとることになったことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>学校の先生方の努力と家庭の協力により、オンライン授業と分散登校中の学びの機会を保障できたと思います。</p> <p>教育委員会としては、子ども達の成長に最も大切なことは、学校に登校し、仲間と共に生活し、対面授業を行うことと考え、対</p>

		<p>応してまいります。一方で、再び一斉にオンライン授業を実施しなければならない緊急事態や、濃厚接触者に特定された児童生徒がオンライン授業を受ける場合などに備えて、今回の実施により明らかになった、オンライン授業の成果や課題をもとに、より効果的な運用ができるよう、取り組んで準備をしております。</p> <p>今後も、近隣市町の動向について情報を得ながら、焼津市の教育大綱にうたう、「優しく、強く、愛しい人」の育成に努めてまいります。</p>
--	--	--

10	委員	<p>現在、市内の小・中学生はオンライン授業を行っていると思うが、以前よりも子供達がネットに触れる機会は確実に増えていると思う。このコロナ禍で、精神的に不安定（非常時での興奮状態等も含む）な子供がいてもおかしい事ではないので、子ども達にネットリテラシーについて考えてもらう時間をどこかで用意してもいいのではないだろうか。</p>
	事務局	<p>御意見の通り、以前よりも子ども達がネットに触れる機会は増加しています。利用料金や時間の配慮、正しいプライバシーやセキュリティ対策の知識、情報の正確な読み取りや取捨選択など、子ども達のネットリテラシーを高めていく必要があります。</p> <p>市教委主催の情報教育推進委員会でも、ネットリテラシーを含めたICTリテラシー育成に関する年間計画を策定中です。</p>

11	委員	<p>社会に開かれた学校をめざし、地域との連携を進めてきたが、コロナ禍により人との触れ合いが制限されてしまうことがとても残念である。感染状況に注意しつつ、方法や内容を工夫することで、今後も、地域との連携の充実を目指したい。</p>
	事務局	<p>現在、モデル地区で推進しているコミュニティスクールは、学校と保護者、地域住民との信頼関係を深め、三者が一体となって子どもたちの健全育成に取り組むことを目指し、活動を進めているところです。</p> <p>コロナ禍ではありますが、工夫をして地域との連携を充実させる方策を考えてまいります。地域の皆様にもご協力をいただけるよう、お願い致します。</p>

12	委員	<p>・ストレス社会であったり、視力や体力の低下であったり、抑えきれない現実を受け止めて、科学技術の進歩により改善できる時代が到来しているのではないかと。ただ、貧困に関しては、悪影響を及ぼす関係が繰り返され、事態の改善には厳しい社会構成とな</p>
----	----	--

		<p>っている。それでも希望が持てる世の中、そこには生きる大人の姿勢が問われるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスにより続く厳しい状況は、海外では最も子育てにおいて重んじられている「自分の身は自分で守る」ことへの警鐘と受け止めたい。様々な試練は今後も起こりうる有事への備えとして、様々な分野で相互に成長し合えることを強く望む。</li> <li>・新型コロナウイルスが発生し約1年半、何より私たち子育て世代が困難を極めたのは経済的負担です。園のママ友の家族はごく一般的ですが、テレワークができない職種なため、休校・休園中は子ども達だけの留守番をさせざるを得ず、様々なことに多くの不安を抱えながら勤務をしています。</li> </ul> <p>経済的困窮は気持ちにも余裕をなくし、多くの不安、外出制限をし、子ども達は遊びにも行けず、買い物へも行けずに毎日在家中で過ごさなければならない毎日です。感染拡大を防ぐには、一人ひとりの行いが重症者の増加や医療崩壊を防ぐんだ、と自分や家族に言い聞かせ、なんとかがんばっています。それでもマスクなしで部活動しているところをみかけたり、飲食店が混雑している様子を見かけたり、スーパーで家族連れで買い物しているところを見かけると残念でなりません。</p> <p>この状況を打破するためには、「お願い」というかたちではなく、命令・強制・法による罰則は当然であり、やるべきだと私は思います。</p>
	事務局	<p>貴重なご意見として参考にさせていただくとともに、庁内で共有させていただきます。</p>

議事（4）その他		
委員からの質問・意見等		
1	委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での業務お疲れ様です。陽性者のある家庭・困窮家庭への支援を優先に、引き続きの対応をよろしくお願い致します。子をもつ親として、やはりコロナワクチンを子供に早く打ってあげたいという思いは、どの家庭でもあると思います。数に限りがあるのは重々承知しておりますが、ワクチン接種の順番が滞りなく回ってきますよう、よろしくお願い致します。</li> </ul>
	事務局	<p>ワクチン接種につきましては、国や県の動向を踏まえ、早期接種が可能になるよう努めてまいります。</p>